

## 技術報告会 静岡大学技術部長 挨拶

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-09-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木村, 雅和 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00026810">http://hdl.handle.net/10297/00026810</a>

## 技術報告会 静岡大学技術部長 挨拶

技術部長 木村雅和

本日は第24回の技術報告会ということで、長きにわたり本会を続けてこられているということに関しまして、技術部の皆様のご尽力に心から御礼申し上げます。また、本日は岐阜大学、三重大学、名古屋工業大学、浜松医科大学からご報告とご参加をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

平成30年4月に技術部は全学支援を意識し、中核となる技術の3つの系のもとに6つの部門を配置したかたちで、組織再編を行いました。今回は新体制での初めての技術報告会となります。また、第三期の中期計画の目標にある、技術部・技術職員の職務の見直しあるいは活性化についても、皆様にご尽力していただいております。これから先、静岡大学の発展におきまして、技術部の存在がいつそう重要になると思いますので、今後ともご協力いただければと思います。

連携協議会に関して少し触れさせていただきますが、現在、浜松医科大学との連携・統合再編に向けた議論を進めている最中です。技術部に関しましては、研究・社会連携検討専門委員会の中で少しずつ議論を進めています。今のところ浜松医科大学と静岡大学で一致している意見は、それぞれのキャンパスの中で今以上にお互いが活性化できるような仕組みがうまく出来上がれば良いのではないかということです。その中でも、技術部の存在というものは非常に重要となるだろうということを両大学で意識しております。

本日の技術報告会の中で皆様のご活動についてご発表いただきますが、今後も着実に技術を磨いていただきながら、教育研究への貢献、さらにそこを通して地域社会への貢献にもご参加いただきたいと思います。